

調査結果速報

豊岡市コウホリ共生部 農業共済課
豊岡農業改良普及センター
たじま農業協同組合

◆ 調査結果(日高地域)

《 紋枯病・いもち病 》

No.	地区	調査ほ場	品種	田植え	紋枯れ病 発生程度	葉いもち病 発生程度
19	国分寺	クマナカ 45-1	コシヒカリ	5/24	無	無
20	中	イサゴ 467-2	コシヒカリ	5/15	無	無
21	栗山	ミツマチ 124	コシヒカリ	5/15	無	無
22	石井	ナカノセ 855-1	コシヒカリ	5/15	無	無
23	栃本	マエダ 338	コシヒカリ	5/15	無	少
24	山田	クマダ 198	コシヒカリ	5/17	無	無
25	竹貫	カミイノツメ 28	コシヒカリ	5/15	無	無

(※25株調査)

《 ウンカ類・カメムシ 》

No.	地区	セジロウンカ 発生程度	トビイロウンカ 発生程度	カメムシ 捕虫数(頭)	備考
19	国分寺	無	無	0	カメムシの要防除基準は0.75頭以上
20	中	無	無	0	
21	栗山	無	無	0	
22	石井	無	無	0	
23	栃本	無	無	0	
24	山田	無	無	0	
25	竹貫	無	無	0	

(※10回網振り)

◆ 生育状況

梅雨明け後の好天により生育は回復しました。出穂時期は概ね平年よりやや早い傾向となっています。

◆ 病害虫発生状況と今後の管理について

☆ いもち病

葉いもち病の発生は、今回の調査ほ場では一部確認されましたが、被害につながるようなものではありません。今後の天候により、穂いもち病の発生も予測されるので、ほ場をよく観察しましょう。

☆ 紋枯病

紋枯病の発生は、調査ほ場では確認されませんでした。稲の茎やその上部まで病斑がないかよく観察しましょう。

☆ ウンカ類

ウンカの発生は確認されませんでした。

☆ カメムシ類 <要防除水準:10回網振りで0.75頭以上>

今回の調査では、カメムシの発生は確認されませんでした。必ず仕上げ防除を実施しましょう。畔草は、雑草に穂をつけないようこまめに草刈りを行いましょう。

☆ 水管理

出穂後は、刈取りの10日前まで土壌水分を保つ程度に飽水管理を行いましょう。早期落水は品質の低下や減収につながりますので、ほ場が乾燥するようであれば走り水をするなどして、品質の良い米づくりに取り組みましょう。

☆ 農薬を散布する場合、隣接する野菜ほ場などに飛散しないように注意しましょう。

◆ 参考 (一般栽培ほ場の場合)

出穂後 7~10日	スタークル粒剤 又は スタークル粉剤DL	カメムシ類、ウンカ類
収穫14日前 までに	カスラブサイド粉剤3DL	いもち病